

そ ら ふ ろ

通信

2月



代表取締役 糸賀満喜子

皆さまこんにちは。
 癸卯の令和5年が始まってもう一か月が経ってしまいました。
 1月に行く2月は逃げる3月は・・・と言いますがこの分だと2月もあっという間に去っていきそうです。
 2月は2683年前に日本が始まったとされる建国記念の日と、今の日本をお支え頂いている今上天皇の誕生日がある月なので、今月だけで日本の成り立ちから現代に至るタイムトラベルができるように感じます。

人は1日に6万回思考していると言われていました。
 「6万回も思考」と聞いてもピンときませんが1日24時間は8万6千秒なので約1.5秒に1回は思考していることになります。
 アメリカ国立科学財団の発表では思考の約80%はネガティブなものだそうなので、人は多い時には1日に4.8万回もネガティブなことを考えているようです。
 そしてこの4.8万回の思考が「自らを苦しめる原因」になっているというのも現実です。
 なんでも自分のせいだと思い込んで自虐的になったり、上手くいかないのは人のせいだと相手を攻め続けたり、ともすればありもしない事に囚われて心ががんじがらめになったりもします。
 人は幸せでいたいはずなのに、なぜ脳内では好き好んで自分をいじめるネガティブ思考に陥ってしまうのか不思議でたまりません。
 また、ポジティブなことを考えるのにはエネルギーが必要ですが、反対にネガティブ思考は放っておいたら底なし沼のようにずぶずぶ入り込んで抜け出すことが難しくなったりもします。
 おまけにそのネガティブな思考は脳に悪影響を及ぼして、脳の老化を早めるとまで言われているのでもう大変です。

そんなネガティブ思考を追い祓ってポジティブ思考になる為に
 2月3日の節分の日には自分の中の「ネガティブ鬼退治」の豆まきに挑んでみませんか？

「自分をいじめるネガティブ鬼は～外！」
 「自分を幸せにするポジティブ福は～内！」

ご自身の内側が満たされて、きっと現実がもっと素敵なものになると思いますよ。

節分と福豆と恵方巻

節分とは文字通り季節の分かれ目の事です。
 暦では立春は新しい年の始まりで「立春正月」と呼ぶので節分はお正月前日の**大晦日**なのです。
 節分の豆まきは、悪い鬼を追い払って福を招き入れ清々しい気持ちで立春正月を迎えるためのものです。
 神社でお祓いされ御祈禱された**福豆**は神様のパワーが入っているので神社に参拝されたら是非、福豆をお受けください。
 今年の恵方は**南南東のやや南**です。
 商売繁盛・無病息災を祈って**恵方巻**は切らずに無言で丸かぶりするのが良いとされています。



1月6日出雲教北島国造館にて御祈念して頂きました。

江戸時代のエコなライフスタイルが素晴らしい！！

「SDGs」や「持続可能な社会」などは新しい言葉のように感じますが、実は「日本の江戸の町は究極の循環社会」でした。

江戸の町が100万人都市となっていた18世紀にはロンドンが約87万人、パリが55万人だったので当時江戸の人口は世界一でした。この頃の江戸の人々は物を徹底的に大切に使うていました。

着物は穴があけば端切れで繕い、寒くなれば夏の着物に綿を入れて冬物に仕立て直しました。

大人の着物が古くなれば子供用として手直し、それでも使えなくなったら雑巾やおむつにして使い、雑巾がボロボロになったら油のふき取り用として使いかまどや風呂窯などの燃料として燃やします。

燃やした後の灰は畑の肥料として撒かれる他、洗剤、シャンプー、切り傷の止血にも使われたり、酒造や陶器造りに利用されるなど徹底的に使い切っていました。

排泄物は全て農家へ運ばれ農作物を育てるための貴重な肥料として扱われました。

それと対照的に、18世紀のロンドンではテムズ川に排泄物や工場の排水が流れこみ、その汚染や悪臭が社会問題になっていたようです。

そのほかにもろうそくの燃え残りを再利用する業者、カツラを作るために抜け毛を集める業者、鏡を復活させる鏡研ぎや、傘や履物や提灯、割れた陶器も修復する専門の修繕業者が活躍していました。



江戸を支えたリサイクル業者と職人の極みの技術

古着屋	市場に出回っている着物の大半は古着で庶民の着物は古着屋で買われていました。着物だけでなく端切れなども扱っていたので、それを襟や裏地などに縫い付けて個性を出したり、帯や小物を組み合わせて変化をつけることでお洒落に着回していました
灰買い	もっこを付けた天秤を担いで灰を買い集め問屋に売っていました。
紙屑拾い	使用済の紙や落ちている紙屑を拾い集め、再生紙を作る紙問屋に販売していました。この紙を再生する技術を漉き返し(すきかえし)と言いました。
すき髪買い	抜け落ちた髪の毛を集めてカツラやに売りました。「落ちはないか」と「声をかけて回ったことから「おぢない」と呼ばれていました。
下肥取り	農家が野菜と人糞を交換したり、買い取ったりして畑の肥料にっていました。
ろうそく流れ買い	溶け出した蠟を買い集めて新しい蠟燭にリサイクルしました。
馬糞拾い	街道などの馬糞を拾い集めて肥料として使っていました。
焼き接	割れた陶器を釉(うわぐすり)で継いだりかけた部分を修復して使えるようにしました。金箔を施すことで新しい芸術品に蘇りました。
鏡研ぎ	割れたり汚れて見え辛くなった鏡を復活させていました。
古傘買い	古傘を買い集めて紙や骨を直して新品同様に修理しました。
雪駄直し、下駄の歯交換	磨り減った雪駄の裏を交換したり下駄の歯を交換しました。
錆掛屋	穴があいたり壊れた鍋や釜のような鋳物製品を修理する職人です。のこぎりの歯を一つ一つ研ぐ「目立て」や布団を新品のように復活させる「打ち直し」もやっていました。
羅宇屋	キセルを修理する職人です。羅宇とはキセルの吸い口と火皿の首とも言える雁首(がんくひ)をつなぐ部分のことです。
提灯の張り替え職人	提灯の紙を新しく張り替えることはもちろん、提灯に書かれている屋号を書き換える仕事をしていました。
箆(たが)屋	桶や樽を締めている箆が緩んだり歪んだりすると中の液体が漏れてしまいます。それを専門の箆屋が修理をしていました。
献残(けんざん)屋	進物品を買取る業者のことです。武士のような上流階級がもらう進物品は食べものが多く、家族では食べきれない場合にそれを献残屋へ売っていました。
帯(ほうぎ)買い	新品の帯(ほうぎ)を売ったり、古くなった帯を下取りしていました。古い帯は縄にしたりタワシにして再利用しました。



壊れた陶器を金接ぎ技法によって美しく修復



株式会社
ソーラープロジェクト大社

本社：〒699-0722島根県出雲市大社町北荒木1057-4

☎0120-830-352

お電話受付時間/10：00～19：00・ショールーム営業時間/10：00～17：00・土日曜日も対応/定休日：水曜日

お客様の声をご紹介します！

地球環境を守りながら、万一の非常時に備えるうえでも
太陽光発電と蓄電池の導入をされる方が増えています。

昨年末に蓄電池のご契約を頂いた出雲市にお住まいのK様のお声をご紹介します。

Q1. なぜ蓄電池導入を決意されたのでしょうか？

太陽光を設置していましたが、売電価格が安くなると思うと
発電を溜めたいかと思っていました。
貴社の話を聞いて、これからはエネルギーの自給自足という
考え方に協感し、導入を決めました。

Q2. 何が決め手となって、弊社とご契約頂けたのでしょうか？

こちらの質問に対してわかりやすく丁寧にご説明頂き、
また、導入した場合、しほいは最良のシミュレーションによって
私達にとってどちらが良いのかを具体的に示して下さいました。
何より営業の浅原さんの誠実さが決め手となりました。

Q3. これから蓄電池の購入を検討される方に向けたメッセージをお願いします。

自分の所で発電して、電気を溜めておくことで、急な停電等に
対しての不安が緩和されます。その他だけでも安心しているから
ため、検討の価値はあると思います。

ご夫婦で今後どうしていくのが良いのか真剣に考えていらっしやっ
たのがとても印象に残っています。K様のお宅の現状と今後の事をご
理解頂き、喜んでいただけただ事にとても嬉しく思います。営業とし
ても大変うれしいお言葉を頂戴し感謝いたします。



電気料金見直しに関するお知らせについて

電気料金メニューの見直しに関するお知らせ

平素から当社の電気をご利用いただき誠にありがとうございます。
当社は、単日本大震災以降も継続した再生エネルギーの利権企業を排除してまいりましたが、昨今の燃料価格や電力市場価格の高騰による影響は企業間で対応できる限界を大きく超えており、2023年4月1日から、電気料金メニューの見直しを行うこととしました。
当社は、これまで以上に徹底した経営効率化にグループを挙げて取り組んでまいりますので、本誌誌に際し、より一層のご理解をお願いすることとなるお客様につきましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

見直しの内容

- 燃料価格や電力市場価格の高騰等を踏まえ、電気料金単価を見直します。
- 従来に比べ、再生エネルギーの燃料価格の高騰を電気料金に反映させる「燃料費調整制度」における基準燃料価格等も、最新の電源構成を踏まえたものに見直しするとともに、従来電灯A等の規制料金メニューも見直します。
- その他については、当社ホームページをご覧ください。

拡大したもの

代表的な電気料金メニューの料金単価

従来電灯A等の規制料金メニュー		ぐつとぐつとプラン	
従来電灯A	従来電灯B	ぐつとぐつとプラン	ぐつとぐつとプラン
従来電灯C	従来電灯D	ぐつとぐつとプラン	ぐつとぐつとプラン
従来電灯E	従来電灯F	ぐつとぐつとプラン	ぐつとぐつとプラン

モビリティの電気料金メニュー(2023年4月1日より適用)

モビリティの電気料金メニュー(2023年4月1日より適用)

中国電力より4月1日からの電気料金メニューの見直しに関するお知らせが届いていることと思います。
赤枠で囲んだ部分に
○見直し前の料金単価及び料金には2022年7月～9月の貿易統計価格に基づく燃料費調整単価および燃料費調整額を含みます。
とあります。(含まれている燃料調整費単価は14.36円です)
反対に、見直し後と表示されている料金単価及び料金には燃料費調整単価と燃料調整費額は含まれておりませんのでご注意ください。

○上記の料金単価は消費税等相当額(税率10%)を、上記の料金は消費税等相当額(税率10%)および再生可能エネルギー発電促進賦課金(3.45円/kWh)を含みます。○見直し前の料金単価および料金には、2022年7～9月の貿易統計価格に基づく燃料費調整単価および燃料費調整額を含みます。○見直し後の料金には、離島ユニバーサルサービス調整額を含みます。○実際の電気特定小売供給約款における実施日・料金単価等は、経済産業大臣の認可を受けて決定されます。○2023年度から導入される新たな託送料金制度に向けて、中国電力ネットワーク株式会社では託送供給等約款の見直しを予定しているため、託送供給等約款の見直し認可・公表されましたら、見直し後の託送料金を上記料金に反映させていただきます。